

一人一花運動、企業による活動紹介

まちにわプロジェクト福岡

2021年度に創立100周年を迎えた株式会社正興電機製作所は、地元地域や市民、企業関係者への日頃の感謝を込めて、本社に隣接する公共緑地において、花時計と花壇のある緑地「東光のまちにわ」を整備しました。この場所を起点とし、「まちにわプロジェクト」を開始し、地域の方々と花壇管理や専門家によるワークショップやイベントの開催、他の地域とのネットワーク形成ならびに共同活動に取り組み、まちの新たな景観づくり、花や緑のある持続可能なまちづくりを推進しています。

まちにわプロジェクトとは



MACHINAWA
PROJECT
FUKUOKA

「まちにわ」とは、「まち」の庭であり、「ひと」のつながりの輪であり、みんなでやる「とき」が連鎖する、花と緑を増やす活動です。

1. 「まち」の庭

公共の緑が比較的少ないエリアを対象に、みんなで楽しく協力して花と緑豊かな空間を創出します。

2. 「ひと」の輪

協力して花と緑をなくも共同作業を通じて、新たな仲間やコミュニティとの出会いの機会を提供します。

3. 「とき」の連鎖

花と緑を維持管理する技術に触れながら、次世代へ継承していくべき環境について考え行動する勇気を醸成します。

まちにわ花、緑化推進イベント「オータムフェス」にねづくメンバーが参加しました！

12月3日、東光のまちにわのイチヨウの紅葉に合わせて、地域みんなで楽しむ東光地区オータムフェスが開催されました。フェスでは、花時計の植え替えや、スワッグづくり、イチヨウの落ち葉アートなどが行われました。福岡市植物園ティーチングガーデナーのト部先生のもと、ねづくメンバーも指導側として、地域の方と一っしょに菜園づくりや花壇の管理を行いました。スワッグづくりは、ねづくメンバーでもある、フラワーデザイナーの徳留かよこさんを講師にクリスマススワッグを作成しました！(o^^o)花材には、スキヤグレピアの枝など、まちにわの花壇の宿根草を使用し、宿根草花壇の楽しみ方を伝えていただきました。東光の活気あふれる地域の方々と楽しい時間を過ごし、花みどりを通じたコミュニティの活性化の可能性を感じることができました。



株式会社長谷工コーポレーション

長浜公園での企業との共働による花づくり!!

レポートその2

ねづくプロジェクトは、地域で植付けなどを指導するリーダーを応援しています。ねづくニュース12月号で紹介した、「長谷工グループ」さんの長浜公園一人一花ボランティア花壇の活動は、長谷工コーポレーションの営業担当の堤さんがリーダーを務めており、中央区役所で11月に開催された「ねづくプロジェクト@福岡市植物園」出前講座にも参加いただきました。

長浜公園での植替えの際は、植物の高さや色合いなど、公園や歩道をきれいに演出するため、建設会社としての技術を活かし水系を使った水平・直線を取りながら花を配置。

最後には全体を見て手直しを行っていました。今後は、花壇の一部に宿根草も植付けしていく予定とのこと。こういった地域と企業が共働でまちづくりを行う取り組みのリーダーとなる人材をねづくプロジェクトは育成しています。



お問い合わせ

ねづくプロジェクト@福岡市植物園
(事務局：(株)ランドスケープむら)

✉ nezukuproject@gmail.com

☎ 092-541-8845 (受付時間 平日9:00～17:00)

follow us



@nezukuproject



@nezukuproject

活動のご確認・参加申込みができます。



ねづくプロジェクト@福岡市植物園ニュース 2023 1月号

ねづくニュース



【目次】

第3回活動ワークショップ

「球根の植え付け」を開催しました！

勉強会

海の中道海浜公園堆肥ヤード&バラ園見学

第4回ミニレクチャー

「堆肥について」を開催しました！

一人一花運動、企業による活動紹介

2023

1月号

【12/10 第3回活動ワークショップ】

「球根の植付け」を開催しました！

12月10日（土）、芝生広場の花壇に、開花時期の異なる22種類、約2000球のチューリップの球根の植付けを行いました。

福岡市植物園ティーチングガーデナーのト部仁美先生よりチューリップの系統や植え付けのポイントなど説明していただいた後に、参加者のみなさんと球根をミックスして植え付けを行いました。球根の量や種類の豊富さに驚きながらも、皆さん楽しそうに作業されていました♪

今回は、西日本短期大学緑地環境学科のみなさまの指導協力のもと、多くの方に参加いただきました。本当にありがとうございます！今回植え付けた球根は3月中旬から蕾が出始めて、3月下旬から4月の春には色とりどりのきれいな花を咲かせますので楽しみに！



球根について講義



球根ミックス



開花時期をみんなで確認



球根ばら撒き♪



球根植え付けの様子



プランターに球根を植えるときは、地植えのときよりも浅めに植えます

根がしっかり張るようになるコツ☆



12月の見本花壇



スイセン、原種のチューリップ、ムスカリなど植えたままで毎年開花する種類を植栽

見本花壇で植栽している球根の紹介

参加者の方々の感想

- ・今まで、球根を浅く植えていた。しっかり深く植えることで、開花にも影響することがわかった！
- ・たくさんの種類のチューリップがあることがわかり、3月からの開花のリレーが楽しみです！

チューリップの品種紹介 ※開花時期は、福岡での開花予想です。

コンカラー

早咲き品種
3月中旬から3月下旬
(一重早咲き系 SE、
ダーウィンハイブリット系 DH など)

ブラックパーロット

中生咲き品種
3月下旬から4月上旬
(トリアンプ系 T、パーロット咲き系 P
など)

イエローポンポネット

遅咲き品種
4月上旬から4月中旬
(一重遅咲き系 SL、八重遅咲き系 DL
など)

【2022/12月のお勉強会】

海の中道海浜公園 堆肥ヤード&バラ園見学

12月13日、海の中道海浜公園（以下、海中）に、堆肥ヤードとバラ園の見学に行ってきました。現地では、公園の緑地管理をされている（株）中村緑地建設の門司さん、清水さん、玉利さんにご案内、解説をしていただきました。



最初に、堆肥ヤードで重機による切り返しの様子や使用している破砕機、温度計等を見学し、堆肥化までの工程を解説していただきました。海中では、一年間の緑地管理で排出される植物性発生材（枝、葉、草など）の総量は、多い時には10,000㎡にも及ぶそう。その植物性発生材を、このヤードにすべて集め、堆肥化し、園内の海浜エリアの土壌環境の改善に使っています。その後、これまでの試行錯誤や実施データについて詳細な内容を解説いただき、堆肥に関する知識を深めることができました。



午後からは、バラ園を見学し、海中での管理方法や種類ごとの性質、剪定の方法について、分かりやすく教えていただきました。

寒い中での見学会でしたが、多くの学びや発見あり大変勉強になりました。今回教えていただいた堆肥化の工程や方法などを活かして、ねづくプロジェクトの堆肥ヤードも試行錯誤し進化させていきたいと思えます！

【第4回ミニレクチャー】

「堆肥について」を開催しました！

12月19日、ねづくプロジェクトの堆肥講師、庭師の清水先生（創都）と亀崎先生（亀崎開楽園）をおむかえして、堆肥ヤードの仕分け作業を行いました。

仕分け作業では、7月の堆肥ヤードづくりワークショップで集めた落ち葉の堆肥化の状況確認と、今後の堆肥化実験のための材料の仕分け、落ち葉集めを行いました。7月に集めた落ち葉は、完成まで70~80%のところまで堆肥化が進みもう少しといったところでした。

今後の堆肥化実験では、①米ぬかありと米ぬかなしの落ち葉堆肥の比較、②なんでもあり（枝、草、葉っぱすべてを含んだ材料）の堆肥化、③草（根なし）と枝での堆肥化を実施することとしました。

堆肥ヤード制作では、ホームセンターで購入できる材料を使用し、材料を切り出すところから使い方で分かりやすく解説いただき、家庭でも活用しやすい堆肥ヤードづくりを実践しました。作成した堆肥ヤードでは、草（根なし）と枝での堆肥化を実施する予定です。

なんでもありの
秤が人気だったため、
2秤にすることとしました！
長い枝葉は20cm程度に刻み
できるだけ種を取り除き
投入しました♪

家庭でも
活用しやすい、
小規模な堆肥ヤードが
新たに出来ました♪

各材料は、土や水、
米ぬか（有のヤード）、
をばさみながら
ミルフィーユ状に
なるように
重ねていきました！

米ぬかの有無でスピードや温度を
比較していきますよ
どのくらい変わるかな？！



木材の切り出し



集めた落葉を投入

夏頃から、アイデアを出し、話し合いをしてきた堆肥ヤードでの実験が形になってきました。今後の活動の中で、各ヤードで堆肥化のスピードや温度の違い等を比較、観察し、堆肥の活用方法を含め、効率的な循環の仕組みを作っていきたいと思えます♪